

# 東京ガスの優位性

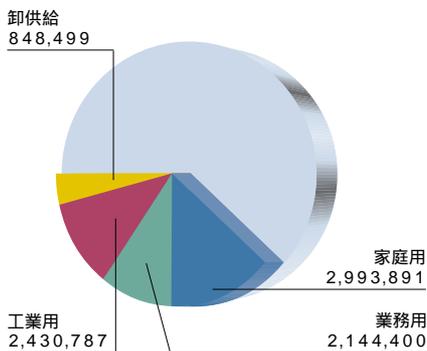
東京ガスは、首都圏および関東地方の870万件を超える需要家と、約3,200km<sup>2</sup>におよぶ供給エリアをほこる日本最大の都市ガス事業者です。関東地方は4千万人以上が居住する人口密度も高い地域で、特に東京は多くの企業が本社を構える日本経済の中心地です。このエリアを基盤に持つことにより、当社には更なる事業拡大の可能性が大きいといえます。また、関東地方は国内総生産の38%を占める国内最大の工業地帯を抱えており、今後も潜在的なガス需要が見込めます。



## 全国都市ガス販売量・東京ガスの用途別販売量

(2000年3月期)

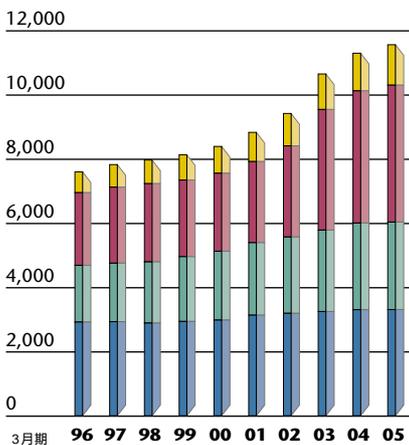
単位:千m<sup>3</sup>(46.047 MJ/m<sup>3</sup>)



■ 全国 ..... 21,773,667  
東京ガス ..... 8,417,577

## 用途別販売量の推移

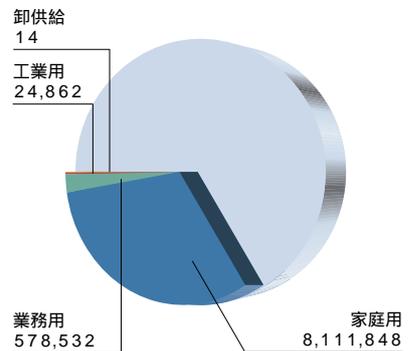
単位:百万m<sup>3</sup>(46.047 MJ/m<sup>3</sup>)



■ 家庭用 ■ 業務用 ■ 工業用 ■ 卸供給  
注: 2001年~2005年3月期は見直し

## 全国需要家件数・東京ガスの需要家件数

(2000年3月末)



■ 全国 ..... 25,614,006  
東京ガス ..... 8,715,256

\* 上記グラフの数値は東京ガス単体

### 天然ガス - 将来を担うエネルギー源

天然ガスは、環境負荷が小さく、埋蔵量の60%が中東地域に集中している石油に比べ、北米・東南アジア・オーストラリア・ロシアなど世界各国に埋蔵されており、可採年数も石油よりも長く、将来主要となるエネルギー源として注目されています。1999年3月期に発表された通産省の「長期エネルギー需給見通し」によると、97年3月期に対して2011年3月期までのエネルギー全体の需要増加率は3%であるのに対し、天然ガス需要は18%増加すると予測しています。さらに、昨今の原子力関連施設の事故や建設反対運動等により、原子力の伸びが鈍化することが予測されるため、現在「長期エネルギー需給見通し」の改訂作業が行われており、天然ガス需要はさらに増加するものと思われます。

### 発展し続ける東京ガス

東京ガスの使命は、天然ガスを中心として多様なエネルギーを安定的かつ長期的に供給することであると認識しています。東京ガスは1969年にアラスカから日本で初めてLNG

を輸入して以来、現在では主要LNG生産地であるアラスカ・ブルネイ・マレーシア・オーストラリア・インドネシア・カタールの6ヶ国から長期契約をベースとしてLNGを輸入しており、LNGに関する豊富な知識と経験を持っていると自負しています。今後とも多様化しつつある市場のニーズにも対応して、価格面等において競争力のある天然ガスを安定的に供給していきます。

このような原料調達体制に加え、規模や技術面で世界をリードするLNG基地と充実した幹線・配給網によって、当社の供給体制を確固たるものとし、日本経済全体と他エネルギーと比較しても2005年3月期までに年平均6.6%と高い成長が見込まれる需要に対応することでエネルギー業界の中で勝ち残っていきます。

東京ガスは、天然ガス事業をコアとして、エネルギーとその周辺分野を主たる事業領域として位置付け、都市ガス供給はもとより、電力、熱を提供する総合エネルギー産業として、着実な成長を目指しています。

### 天然ガスにおける世界供給体制

日本への天然ガス輸入量は2000年3月現在約5,200万トンで、このうち東京ガスは約620万トンを入力しています。

